

財団法人 8020 推進財団
平成 19 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名 : 早産・低体重児出産の歯科的予防対策

2. 申請者名 : (社) 豊田加茂歯科医師会 会長 小澤 晃

3. 実施組織 : 豊田市保健所・健康増進課・子ども家庭課、三好町、豊田加茂医師会、
豊田加茂歯科医師会

4. 事業の概要 :

平成 17 年度歯周病対策ネットワーク事業「歯周病と早産・低体重児出産の関連についてのシンポジウム」において、市民・行政・産科医の高い関心とネットワークの礎を得、行政に対し事業提案を行った。今年度、行政主動にて協議会を開催し歯科・産科のネットワークを構築し、それぞれの立場で妊婦の歯周病予防の普及・啓発方法について協議を行ない、妊婦歯科健診の受診率向上を図り、早産・低体重児出産予防、障害のない早産児予防に地域ぐるみで取り組む。

5. 事業の内容 :

- 歯周病対策検討協議会の開催
構成委員 : 豊田市、三好町、豊田加茂医師会、豊田加茂歯科医師会、歯科衛生士、助産師、愛知学院大学歯学部・野口俊英教授
協議内容 : 産科・歯科の連携体制を構築し、産科健診⇔歯科健診の妊婦の流れを確立する。
産科外来にて啓発および歯科健診受診を薦める。
母子手帳交付時に啓発および教育。計 3 回協議会を開催。
- 啓発資料の作成
産科外来用ポスター、受診勧奨チラシ、セルフチェックシート、歯周病判断マニュアル
歯科外来用ポスター、健診結果用シール
母子手帳の改正、パンフレット、受診勧奨チラシ
- 産婦人科医会との連携
産科医の理解と協力を得るために、産婦人科医会交流会において事業の概要と歯周病について説明を行なう。
- 研修会の開催
歯科医師会会員の理解とモチベーションを向上するために、大学教授、産婦人科医を講師に最新知見と歯周病治療、妊婦の歯科治療における注意点について講演。

6. 実施後の評価（今後の課題） :

- 連携体制の確立
周産期医療には問題が山積している中、シンポジウムを機に産科医の熱意と協力により行政に対し事業提案を行い、スムーズに連携体制を築くことができた。
- 歯周病と全身疾患との連携推進
行政主動の事業展開によって、他の全身疾患との連携について理解を深めてもらう契機になり、誤嚥性肺炎、骨粗しょう症、糖尿病などについても診診・病診連携が推進された。
- キャンペーンおよびイベントの開催
行政を中心に地域ぐるみで事業の取り組みを進めてきたが、市民代表者や障害福祉関係者など輪を広げると共に、次年度は地域住民に理解と参加をしてもらいイベントを開催する。
- 積極的な健康教育
パパママ教室における歯・口の健康教育を積極的に行い、行動変容できるように妊婦のオーラルヘルスの意識高揚を図り、健康づくりのキーマンとなって産まれて来る子ども、夫や家族など各ライフステージの歯科保健の向上を目指す。
- データの収集および分析・評価
本年度は具体的な啓発方法の協議と啓発資料を作成し、平成 20 年 4 月より啓発および歯科受診勧奨を行って、次年度以降 1 年毎にデータ収集・分析・評価を行なう。

